

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 5月 13日

群馬県知事
山本 一太 殿

提出者
住 所 伊勢崎市国定町一丁目254番地
氏 名 上州生コン(株) 国定工場
代表取締役 鳴瀬 浩康
電話番号 0270(62)1556

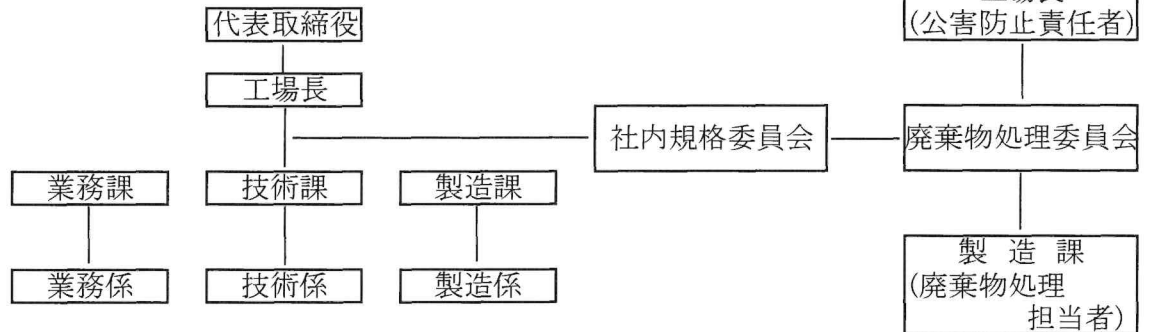
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	上州生コン株式会社 国定工場
事業場の所在地	伊勢崎市国定町一丁目254番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	5億5000万円
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>工程製品 ⇒ 不良品トラブル ⇒ 戻りコン ⇒ コンクリートくず ⇒</div> <div>中間処理業者へ処理委託 ⇒ 再生路盤材</div>



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2023 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	———
	排 出 量	6,400 t	——— t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・工程作業による不良品発生抑制 ・顧客とのトラブル防止に努める 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	———
	排 出 量	6,000 t	——— t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・戻りコンクリートの無償提供 ・コンクリートブロックを作成し無償提供 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ———
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ———

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	①現状	【前年度（2023年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	———
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	300 t	——— t
		（これまでに実施した取組） ・戻りコンクリートの無償提供 ・自家用に再利用 ・コンクリートブロックを作成し無償提供		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	———
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	500 t	——— t
		（今後実施する予定の取組） ・戻りコンクリートの無償提供 ・コンクリートブロックの作成		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	①現状	【前年度（2023年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	———	———
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	——— t	——— t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	——— t	——— t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	———	———
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	——— t	——— t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	——— t	——— t
		（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	①現状	【前年度 (年度) 実績】		
		産業廃棄物の種類	_____	_____
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	_____	_____
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
		(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	①現状	【前年度 (2023 年度) 実績】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	_____
		全 処 理 委 託 量	6,100 t	_____ t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	6,100 t	_____ t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		(これまでに実施した取組)		
		<ul style="list-style-type: none"> ・不良品発生の抑制 ・購入者への余剰コンクリートの削減要望 		

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	_____
		全 処 理 委 託 量	5,500 t	_____ t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	5,500 t	_____ t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	_____ t	_____ t
		(今後実施する予定の取組)		
		・工程作業による不良品の撲滅 ・自家用に再利用 ・コンクリートブロックの作成		
	※事務処理欄			